

平成 29 年 8 月 18 日

箕輪町議会議長 木村英雄 様

地方創生・人口減少対策等特別委員会
委員長 唐澤 敏

復 命 書

1 日 時

8 月 2 日(水) 15:00 ～ 17:00

2 場 所

東京都新宿区市ヶ谷
法政大学地域研究センター

3 面談者

法政大学地域研究センター
副所長 岡本義行 教授
客員研究員 山本祐子 講師

4 内 容

○ 箕輪町議会 地方創生・人口減少対策等特別委員会についての説明

- ・箕輪町の人口も、2010 年頃から減少傾向が続いている。
- ・人口減少は地域経済を縮小させ、地域経済の縮小が更に人口減少を加速させるリスクが高く、町民の生活に様々な影響を及ぼすため町政にとって大きな課題となっている。
- ・本特別委員会は、人口や産業などの現状を把握・分析して人口減少に係る課題を明らかにしつつ、課題の解決に向けて調査・検討を深めたうえで具体的な政策提言を行う。
- ・時代の要請でもある地方分権の内実を深めるため、議会として自立的に調査・研究を行い質の高い政策の立案に挑戦していく。
- ・内閣府のまち・ひと・しごと創生本部から提供されている RESAS(地域経済分析システム)など客観的なデータに基づいて検討を行う。幅広い関係者の共通理解の基盤とするとともに、評価にも活用する。
- ・データの分析や政策の立案に当たっては、その質を高めるため、積極的な情

集や意見聴取に努める。

- ・総合的かつ客観的な現状分析を踏まえ、国家戦略となっている地方創生の流れのなかで将来を見据えた施策を立案し、実効性のある制度づくりなどの環境整備を図っていく。
- ・今後の取組としては、町の施策を点検・評価(産業政策の特徴や新規事業)、商工会やJA関係者などとの意見交換、該当分野における国の施策等についての情報収集などがあげられる。
- ・委員会設立の趣旨や委員会の構成、今までの委員会の内容等については、ホームページで発表されている資料等を使って説明した。

○ 法政大学 地域研究センターについての紹介

- ・グローバルな視点を持った地域問題研究の拠点として、地方自治体等に様々な支援や政策提言を提言する機関で、法政大学の持つ知識・情報や地域連携のノウハウを地域や社会に広く還元している。
- ・岡本教授自身は、地域活性化政策の研究等をテーマにしており、大学院では政策分析や地域経済学などを担当している。また、最近では岡山県鏡野町の総合戦略の策定にもかかわった。
- ・山本講師は、研究センターで政策学を担当しており、地方活性化政策等について、岡本教授とともに研究や自治体への支援等を行っている。RESASを活用しての分析にも取り組んでいる。

○ 両者における交流の可能性について

- ・早いうちに箕輪町を訪問するなかで、地方創生・人口減少対策等特別委員会の委員と懇談の機会を持つなどし、今後の進め方などについて話し合っていきたい。
- ・法政大学側としては、何らかの協定のようなものができれば、今後の助言などの支援活動がしやすい。

5 その他

岡本教授は飯田市との地域振興に関する連携にも取り組んでおり、山本講師も伊那市南アルプス村の経営に係わりが深いとのことであった。